

## 火の鳥

カルシウムの炎に包まれた羽ばたきを  
ぼんやりと空に浮かべた、あの鳥は  
眩しい太陽の子では決してなく  
夜の闇から生まれたのだった

その火は弱々しく澄き透り  
その飛行の後ろには子守唄を残し  
陽光をさえぎって昼に薄い影を落とし  
冷たい炎にふと静寂を引き寄せる

(1985.3.21)